

中村武羅夫

（著者）

小説家、評論家。明治十九年十月四日北海道生れ。

昭和二十四年五月十二日歿（八六一九歳）。筆名中村道花、王春嶺、

藤澤道人、香川春作、BN生、N等。明治四十年上京して小泉風葉の

門に入り、翌年雑誌『新潮』記者、のち編輯の中心となり、『中央公

論』の龍田樗陰とて文壇名編輯者の名譽を二分。傍ら自ら筆を執りて通

俗小説で人氣を博す一方、『不同調』、『近代生活』の據りて新興藝

術派運動を展開。昭和十七年發足の日本文學報國會では常務理事、専

務局長を歴任。『長篇二人全集』全二十八卷（加藤武雄著、昭和

五年二月一日―七年十月五日新潮社）刊。

著書『人生』全二冊（第一部、『寒の門』大正十年十一月五日、第一

部、『獸入』十、日新潮社）、『渦潮』（大正十二年四月五日新潮社）、

『群言』全二冊（前編・大正十四年二月十二日、後編・四月十七日新

潮社）、『文壇隨筆』（大正十四年十一月十二日新潮社、『感想小品叢

書』）、『瑠璃鳥』（大正十五年十月二十五日新潮社）、『縁の春』

（昭和二年五月五日新潮社）、『中村武羅夫篇』（昭和二年七月一日

新潮社、『現代長篇小説全集』）、『蒼白の薔薇』（昭和四年八月二十

日新潮社、再刊・八年六月十五日『新潮文庫』）、二十二年二月五日矢

貴書店『長篇名作文庫』）、『誰だ？花園を荒らす者は!!』（昭和五年

六月二十一日日新潮社）、『北海道斷片』（合著、昭和五年十一月二十

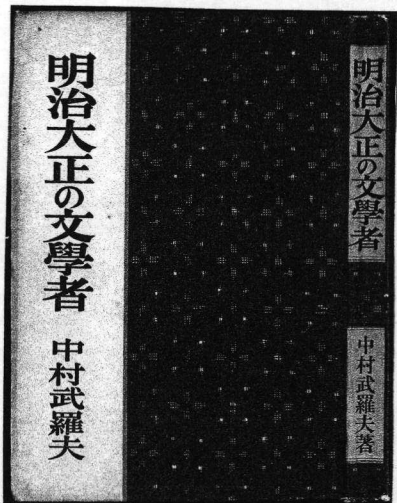
五日伊藤司馬編輯）、『中村武羅夫讀物選集』（昭和六年九月二日新

潮社）、『雜誌の編輯』（合著、『綜合ゼヤーナリズム講座』編輯部

編、昭和七年二月十八日内外社）、『嘉村鐵多全集』全二卷（共編、

昭和九年五月十五日―九月五日白水社）、『心の太陽』（昭和九年七

月七日新潮社）、『藝叢色の道』（昭和十年五月十日、新潮社）、『昭和
 長篇小説全集』（、『わが自然と人生』（昭和十年八月、千代田舎書
 房）、『女のなげだてくめ』（昭和十一年四月、新潮社）、『傳記棚
 橋綱子力自』（昭和十二年二月十五日、婦女界社）、『現代文章講座・
 第一巻』（今暮・近藤一郎編、昭和十五年二月、千代田舎書房）、『清
 聲』（昭和十八年二月、千代田舎書堂）、『地獄の花嫁』（昭和二十二年
 八月一日、金止堂）、『明治大正の文學者』（昭和二十四年八月十五
 日、留女書店）、『火の柱』（昭和三十年一月、千五百東方社）等。



明治大正の文學者 中村武羅夫